

# 授業科目 助産診断・技術学Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	看護（助産師コースのみ必修）
下山 博子 他		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】					
妊娠期における妊婦と胎児およびその家族の経過と健康生活に関する助産診断・技術について学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>妊婦と胎児およびその家族の身体的・心理的・社会的状態に関する助産診断について説明できる。</li> <li>妊婦と胎児およびその家族の身体的・心理的・社会的状態に関する助産診断に基づいた助産技術を説明できる。</li> <li>正常経過を逸脱した妊婦と胎児およびその家族に関する助産診断について説明できる。</li> <li>妊娠期の保健指導を計画立案、実施できる。</li> <li>妊娠期における助産師としての役割・態度について考察する。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	妊娠期の助産診断・技術（1）			1～3	講義
2	妊娠期の助産診断・技術（2）			1～3	講義
3	妊娠期の助産診断・技術（3）			1～3	講義
4	妊娠期の助産診断・技術（4）			1～3	講義
5	妊娠期の保健指導の実際	アセスメント、計画立案、実施、評価（1）		1～4	グループワーク
6	妊娠期の保健指導の実際	アセスメント、計画立案、実施、評価（2）		1～4	グループワーク
7	妊娠期の保健指導の実際	アセスメント、計画立案、実施、評価（3）		1～4	グループワーク・発表
8	妊娠期の保健指導の実際	アセスメント、計画立案、実施、評価（4）		1～4	グループワーク
9	妊娠期の保健指導の実際	アセスメント、計画立案、実施、評価（5）		1～4	グループワーク
10	妊娠期の保健指導の実際	アセスメント、計画立案、実施、評価（6）		1～4	グループワーク・発表
11	妊娠期の保健指導の実際	アセスメント、計画立案、実施、評価（7）		1～4	グループワーク
12	妊娠期の保健指導の実際	アセスメント、計画立案、実施、評価（8）		1～4	グループワーク
13	妊娠期の保健指導の実際	アセスメント、計画立案、実施、評価（9）		1～4	グループワーク
14	妊娠期の保健指導の実際	アセスメント、計画立案、実施、評価（10）		1～4	グループワーク・発表
15	まとめ			5	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊 娠 期の診断とケア	森恵美責任編集 他	日本看護協会出版会	2009・3,600円＋税
参考書		助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ [1] 妊娠期	我部山キヨ子他編 他	医学書院	2011・4,800円＋税
		助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハ イリスク妊産褥婦・新生児へのケア	遠藤俊子責任編集	日本看護協会出版会	2009・4,500円＋税
		改訂第22版 最新産科学 正常編	荒木勤著	文光堂	2008・5,000円＋税
		改訂第21版 最新産科学 異常編	荒木勤著	文光堂	2008・7,000円＋税
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
試験 60% 出席ならびにグループワークへの参加態度 40%		リプロダクティブヘルスケア演習Ⅰ・Ⅱ、母性看護学実習で履修した内容は十分理解したものととして授業を進めます。演習を取り入れ、学んだ知識と技術を統合し、実践能力を高めていくことをめざします。 課題意識をもって主体的に学習し、妊娠期における助産師としての役割・態度について考察してください。			